

# 開催案内

## マンスリーセミナー

427 回	12/18 (火)	自動運転のためのライダーと 画像のフュージョンによる環境認識手法	芝浦工業大学 システム理工学部 機械制御システム学科 教授 伊東 敏夫 氏
(内容)ライダーは自動運転のための本命環境認識センサーと思われる。しかし、ライダーにも課題があるため、ライダーの改良と他センサーによる補償が必要となる。そこで本講では、自動運転に向けた環境認識用センサーとしてのライダーの特性と期待、また課題を述べ、ライダーの改良の話題、及び画像のフュージョンによる環境認識手法について講演する。			
428 回	1/22 (火)	第5次エネルギー基本計画における 太陽光発電産業技術動向	株式会社 NTTファシリティーズ 経営企画部 政策涉外室 担当部長 田中 良 氏
(内容)平成30年度7月に閣議決定された第5次エネルギー基本計画において、太陽光発電事業は2030年に向けて主力電源化への布石としての取組を早期に進め、2050年に経済的に自立化し脱炭素化した主力電源化を目指すと明確に定義づけられた。これは我々再生可能エネルギーに携わる者として大変名誉な事であるが、一方日本のエネルギーの将来に重要な責任を負うことになった。つまりシステムの安定性、安全性、コストはもちろんのことであるがエネルギーのベストミックスを考慮した長期信頼性等々、解決すべき課題は山積している。ここではこれらの課題の解決に向けた方向性等に対して太陽電池そのものの開発動向や諸外国の動向を含めて報告する。			
429 回	2/12 (火)	最先端短波長光源 (DUV/EUV) と 半導体製造への応用	ギガフォトン株式会社 代表取締役副社長(兼) CTO 溝口 計 氏
(内容)半導体の微細化の進展とともに光リソグラフィ光源の短波長化が進んできた。KrF、ArF、ArF液浸、マルチパターニングと進展し、10 nm以下のデザイン寸法ではEUV(極端紫外線)波長でのリソグラフィが熱望されてきた。近年EUV光源の性能改善が進み半導体製造現場での250W運転の成功も報告され、ロジックデバイス製造メーカーを中心にEUV露光装置の導入が大きく進展している。一方でメモリーメーカーではDUVリソグラフィが主力であり、導入が今なお活発で、DUV光源の開発も活発に行われている。本講演では、DUV(KrF、ArF液浸)リソグラフィの進展とDUVエキシマ光源の開発の現状、EUV光源の昨今の世界での進展と、わが社での開発の現状について解説する。			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧下さい。

会 場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅 3番出口）  
東京都文京区関口1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル7階  
時 間：午後3時30分～5時30分  
定 員：60名（申込先着順）  
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参 加 料：協会賛助会員：1,500円（1回につき・消費税込）  
一般参加：3,000円（1回につき・消費税込）  
大学・公的機関：無料（学生・院生含む）  
申込先：光産業技術振興協会 開発部 村谷  
TEL：(03)5225-6431 FAX：(03)5225-6435  
E-mail：[mly@oitda.or.jp](mailto:mly@oitda.or.jp)